

フキ指導案

チーム四小

青 梅 第 四 小 学 校
授 業 改 善
5年

6月23日(月)5時間目

国語 「インターネットは冒険だ (3/7)」

本時のねらい

◎文章の内容を捉えることができる。(思考力・判断力・表現力)

本時のこだわり

○重たいセンテンスカードづくりも、活動を焦点化することで取り組みやすくします！

段階	学習活動	指導・支援(○) 評価(☆)
導入	1. 長文のセンテンスカード(第1段落)を提示する。 【仕掛け】 T:センテンスカードにこれだけ書いてあって、その段落の内容が一目でわかるかな？ C:分かりづらいから、文を削って大事な所だけ残した方がいい。	○悪い例の置き換えを提示することで、児童の「考えたい！」やもう一度本文を「読みたい！」という気持ちを高めさせる。 ○教科書の叙述に立ち返ることが重要であることを押さえる。
	センテンスカードをつくり、各段落の内容をまとめよう。	
展開1	2. 長文のセンテンスカード(第1段落)を推敲する。 【焦点化】【共有化】	○提示する文章を焦点化することで、児童にとって取り組みやすい環境をつくる。 ○中心文や残すべきキーワードは何かを考えさせるような言葉掛けをする。 ○自己内対話の時間を確保し、個人→ペア→全体の流れで考えを共有する。
	3. センテンスカードにまとめる時のポイントを確認する。 ・いらなところは削り、大事な言葉は残す。 ・一目で段落の内容がわかるように、なるべく短く書く。	○「見立てる」で押さえた説明文の読み方、展開1で行った活動を振り返り、センテンスカードに書くべきことをまとめる。
展開2	4. ペアごとに担当の段落のセンテンスカードを作る。	○学習を焦点化すること、担当の段落をつくるという役割を与えることで、児童の「考えたい！」「伝えたい！」という気持ちを高めさせる。
	5. 作ったセンテンスカードを板書で共有し、全体の内容を理解する。	○今後教室掲示用として活用できるように、短冊にまとめる。 ☆各段落に書かれている内容を理解している。(観察・発言・記述)
まとめ	7. 振り返り・次時の予告	○理解した段落ごとの内容を基に、次回は文章構成を確かめていくことを予告する。

